

令和6年度 近畿地方整備局管内 河川協力団体意見交換会

開催結果報告

【開催概要】

日 時：令和7（2025）年2月25日（火） 13:00～17:00

場 所：大手前合同庁舎 1階 共用会議室1

参加者：河川協力団体：13団体20名（うち1団体2名はWEB参加）

河川管理者（近畿地方整備局、事務所）：24名（うち12名はWEB参加）



<活動発表の実施状況>



<意見交換の実施状況>

【議事概要】

河川協力団体からの活動発表や活動を行う上での課題等について、河川協力団体相互の情報共有と意見交換を行った。河川協力団体からの主な意見は以下のとおり。

<河川協力団体の活動に関して>

- 資材運搬に苦勞している。広域の活動に対する資機材等の支援体制があるとよい。
- 活動資源の課題について、実態をきちんと分析し、対応策を検討してほしい。
- ボランティア確保について、河川管理者や他団体の皆さんと知恵を出し合って何かできることはないか。例えば、河川協力団体のポータルサイトがあるとよいのではないか。
- 人材確保には、活動が多くの方に認知されることが重要である。
- 河川管理者からの業務委託の事例があるので参考に教えてほしい。
- 30年間の活動を継続していく中で、河川管理者との協力関係が構築できた。大事なのはきちんとデータ・資料を作っていくことだ。
- 水辺での体験活動を実施している河川協力団体は、水難事故防止のため、川の指導者の安全講習等を受講すべきである。

<河川協力団体制度に関して>

- 河川管理者として、河川協力団体の活動の活性化の支援をしてほしい。評価・PRされれば、もっとやる気になる。
- 樹木伐採等の河川管理をするにも資金や申請が必要であるため、分かりやすくしてほしい。

<意見交換会に関して>

- 今回の意見交換会の開催はありがたい。今後も年1回は開催してほしい。次回はマスコミも来てくれるような意見交換会にしたい。また各河川でも開催してほしい。
- 今回は参考になる話を沢山聞くことができた。

<川づくり全般に関して>

- 市民にとって最も身近な自治体に、もっと川に関心を持ってもらいたい。
- 昔は、道普請や川普請があった。今も、川普請と考えて活動すべきだと思う。流域治水につながる。住民が川をつくって、守る、そして伝統になっていく。河川管理者はその先頭に立ってほしい。
- 皆で話し合いや協働をしつつ、川づくりのシステムを作っていきたい。

<その他>

- 市民活動を紹介するスペースが少しでもあるとよい。
- 不法投棄の問題について、いい解決方法があれば教えてほしい。

以 上